



「どうだ？ 俺のチンポの味は」

「んーっ、んんうー！」

ス
ッ
ッ

ズ
ッ
ッ

「ってしゃべれないか。
あー、女子学生の口マンコ超気持ちいい」

「よしっ、そろそろ出すぞ。」
「俺の特製濃厚ミルクたっぷり飲みな！」

ヒクヒクツ

「んっ…んんうづうづうづうづうづうづう！」

「んっん…んぐ…」

とろん…

（よし、おとなしくなってきたぞ。
ザーメンの媚薬効果が効いてきたみたいだな）



「やだあ……こんなこと駄目なのに、
体が疼いて……お、おかしいよ……！
あっああん！」

「素直になれよ。
チンポで犯されるの好きなんだろ？」

ズ
ポッ

ズ
アッ

「あっああん！
段々気持ち良くなってきた♡
お願い、もっとズポズポしてえ♡」

「おらっ、ここがいいんだろ？」

「あんっあんっああん♡
すごいいいいいいっ！
激しいよおおおおお♡」

ズポッ

ズ
アッ

「うっ、そろそろ出そうだ。
今度は膣にたっぷり出してやる！」

「あああああああああ！
熱いのがお腹の奥に
いっぱい入ってくるよおおおお♡」



「嫌あ…!!
や、やめてください!」

「気持ちよくしてやるから暴れるなよ。
ほら、これでどうだ?」



「やあああああ！ あ、熱いよお……！
それに……頭がぼーっとして……
何？ この感じ……！」

「どうした？
俺の股間のモノをじろじろ見て」

「べ、別に見てなんか……」

「おら、こいつが欲しいんだろ？」



「あっ♡だ、駄目ええええ！
んっ、あっあん♡
何これ、気持ち良すぎいいいい♡」

「どうだ、俺のチンポは？」

「はあっはあ♡
すごいですう！
もっと突いて突いてええええ♡」

ズポッ

ズッ
ッ



「うっ…そろそろいきそうだ。
今度は中に出すぞー！」

「あああああああああ！
だ、駄目えええええええええええ！
赤ちゃん出来ちゃうよおおおお！」





「ち、痴漢……!?!
嫌……やめてください!
それに何? このヌルヌルしたの……!?!」

「へへっ、これは
メスの本能を呼び覚ます魔法の薬さ。
どうだ気分は?」

ヌルッ

ヌル
ヌル



「あれ、おかしいな…。
私、こんなことされてるのに
嫌じゃない……!?」

「へへへ、効き目抜群だな。
よし、もっといいものくれてやるぞ」

ヌルッ

ヌル
ヌル

「あつ、熱いものが入ってくるう！
こんなところで駄目…！！
痴漢さん大胆だよお！
ああん♡」

「そんなこといって
もうビショビショじゃないか。
ほら、ここがいいんだろ？」

「あつあつああん♡
私、痴漢されてるのに興奮しちゃってるう！
おかしくなっちゃったよおおおお♡」

ズ
ポ
ズ
ポ

「うっ…、もうイきそうだ。
中に出すぞ!」

「駄目だよ、大きな声出ちゃうううう…!!
あっあああああああ♥」



「急に家に連れ込んで何を……!?
あつ、や、やめてえ!」

「良い具合のマンコだ。
これならすぐイけそうだぜ」



「おら、中にたっぷり出してやるぜ。
おとなしくなりな」

「あっ、い、嫌あああああああ！」

ド
ピ
ツ

「あれ…？ な、何よこれえ。
どうしてこんな気持ち良く…」

とろん…♡

「どうした抵抗しないのか？」

「だ、だってえ…!!
私、犯されてるのに感じちゃってる!?!
あっああん♡」

ヌ
ダ
ヌ
ッ

「おら、もつと出すぞ！
膣で受け取れえ！」

「あっあああああああ！
すごい！ いっぱい出てるううううう
妊娠しちゃうよおおおおお♡」

ド
ビ
ズ
ビ
ン

「よお、俺とイイことしようぜ」

「きゃあ！ な、何よあなた!?!」

「君がセックスしたそうな顔してたから
声かけたんだよ」



「な、何馬鹿な事……きやあ！
いきなり何するのよ！？
……ってあれ？ 何か急に体が疼いて……」

「どうだ、俺のチンポ欲しいだろ？」

どろろ……

「ううっ、どうしちゃったの私？
はあっはあ、おちんちん欲しいよお……
お願い。早く入れてえ♡」

「やっぱり俺としたかったんだな？
…って、もうマンコビショビショじゃないか。
このスケベめ！」

「あんっあんっあん♡
気持ち良すぎいいいいい！
もつと突いてええええええ！」

「どうだ、ここがいいんだろ。
おらっおら！」

「あっああああああん♡
凄すぎるいいいいいいい！
私、もうイっちゃうよおおおお♡」

「俺もそろそろイクぞ！
どろっどろのザーメンたっぷり射精してやる！」

「嫌あああああ！
お腹の奥にビュービュー出てるよおおお！
駄目えええええ赤ちゃん出来ちゃううううう♡



6"
 7
 6"
 7
 "1

ヒッ
ン

トロロ











































